

【短報】東京都におけるクシヒゲタマキノコムシ属3種の採集例

筆者の手もとに東京都で採集したクシヒゲタマキノコムシ属3種があるので、以下のように記録しておく。今回報告する3種はともによく似るが、♂交尾器の形態のほか、上翅の点刻列の状態、前胸背板の形状および微細印刻の有無などによって区別できる(保科, 1999)。

すべての個体は、倒木や立ち枯れ上の変形菌の子実体の周辺より筆者が採集した。標本はいずれも筆者が保管している。

1. ズモンクシヒゲタマキノコムシ *Anisotoma annae* Švec, 1992

1♂1♀, 東京都西多摩郡奥多摩町日原金袋山(標高約1,300 m), 24. VIII. 2007.

東京都初記録。本種は1♂によって記載されたが、タイプ産地に関しては「日本」である以外の情報は原記載にはない。北海道, 本州, 四国, 九州から分布情報がある(保科, 1999; 保科ら, 2003)。

2. オビスジクシヒゲタマキノコムシ *Anisotoma didymata* (Portevin, 1927)

1♀, 東京都西多摩郡奥多摩町日原一石山~人形山(標高1,000~1,100 m), 12. VI. 2010; 1♀, 同地, 9. VII. 2011; 2♂♂, 同地, 8. VI. 2012.

奥多摩町からは、芳賀(2007)による既記録がある。中禅寺をタイプ産地とする種である。♂を含む5個体で記載された。北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬から分布情報がある(保科, 1999)。

3. コゲチャクシヒゲタマキノコムシ *Anisotoma frontalis* (Portevin, 1927)

2♂♂2♀♀, 東京都西多摩郡奥多摩町日原一石山~人形山(標高1,000~1,100 m), 9. VII. 2011; 5♂♂5♀♀, 御蔵島村里, 5~7. VII. 2012.

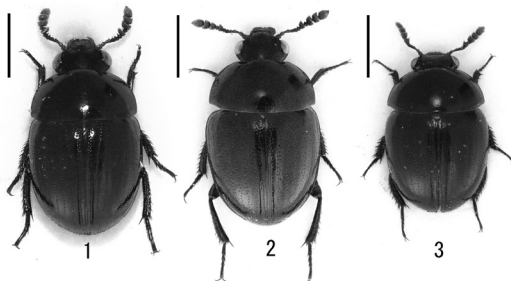


図1-3. クシヒゲタマキノコムシ属。1, ズモンクシヒゲタマキノコムシ(奥多摩町産); 2, オビスジクシヒゲタマキノコムシ(奥多摩町産); 3, コゲチャクシヒゲタマキノコムシ(御蔵島産)。スケールはすべて1 mm。

東京都からは野村(2011)による奥多摩町, 宇佐美ら(2011)による日の出町からの既記録がある。また、本種は1♂によって記載されたが、そのタイプ産地は東京近郊である(前種とともにタイプはガロアによってもたされたもの)。

これまで、本州, 四国, 九州から知られていた(保科, 1999)。伊豆諸島および御蔵島からは初記録。御蔵島での調査は、許可を得て行った。

引用文献

- 芳賀 馨, 2007. 1970-90年代に奥多摩で採集した甲虫類。うすばしろ, 35: 1-46.
- 保科英人, 1999. 日本産タマキノコムシ科メモリアル。ねじればね, (85): 6-9.
- 保科英人・佐々治寛之・高橋直樹・牛嶋啓明, 2003. 2002年石川県白山系で採集された甲虫類 付 オオキノコムシ科昆虫の1新種の記載。福井大学地域環境研究教育センター研究紀要「日本海地域の自然と環境」, (10): 15-39.
- 野村周平, 2011. FIT かけある記 その4: 虫屋の手が及んでいない領域へ。月刊むし, (482): 33-40.
- Portevin, G., 1927. Les Liodidae du Japon. Pp. 73-94. In: P. Lesne(editor): Coleoptera, études sur les insectes Coléoptères. In: Encyclopédie entomologique. Série B. Mémoires et notes. Tome II.[1926-1927]. Paris: Lechevalier, 201+1pp.
- Švec, Z., 1992. On two palaeartic *Anisotoma* (Coleoptera, Leiodidae). Annotationes Zoologicae et Botanicae, 209: 1-5.
- 宇佐美均・大村信一・大脇 真・川上洋一・杉村健一・武智昭一・筒井 謙・原島真二・森川清志, 2011. 文化財総合的把握モデル事業 生物調査 昆虫調査報告書[2010], Pp. 82-234. 東京都日の出町, 日の出町歴史文化基本構想 73pp, 付属 CD 内。

(亀澤 洋 350-0825 川越市月吉町 32-17)

【短報】伊豆大島からのアリガタハネカクシ亜科 Pinophilini 族2種の記録

伊豆大島においてハネカクシ科の甲虫が調べられたのは、ほかの昆虫と比較しても歴史は浅くなく、古くは戦前に安立(1937)が11種を報告している。ただし、その後は Sawada(1971)による海岸性種の追加などがあるが、あまり情報が付加されることがなく、今日に至っている。

筆者の一人、亀澤は2012年10月1日~4日の期間、同島において調査を行い、以下の2種を得ているので報告する。報告に先立ち、情報をお寄せいただいた大林隆司氏と岸本年郎博士、ならびに問い合わせに応じてくださった山本周平氏に深謝する。学名は Herman(2010)に、和名は柴田ら(2013)に従った。

1. クビナガハネカクシ *Procirrus lewisii* Sharp, 1889
4exs., 東京都大島町元町津倍付 [N34°45'60"
E139°22'25"], 4. X. 2012.

伊豆大島および伊豆諸島初記録. 林縁のシフティングにより採集された.

本種は、長崎県で得られた1雌をもとに記載され、国内からは本州、四国、九州、口永良部島、徳之島、石垣島、小笠原諸島から生息情報があるが(柴田ら, 2013), 概して得難い種である. 本州の属島からの採集例としては、広島県の上蒲刈島、倉橋島からも報告がある(岡本, 1990). 国外分布としては香港(Rougmont, 2001), タイ(Last, 1961)が知られている.

2. クロバナエリガタハネカクシ *Oedichirus lewisius*
Sharp, 1874

1ex., 東京都大島町泉津原野 [N34°43'15"]



図1, クビナガハネカクシ; 図2, クロバナエリガタハネカクシ (いずれも伊豆大島産); 図3, 両種が採集された林縁環境. スケールはともに1 mm.

- E139°25'37"], 1. X. 2012; 3exs., 大島町元町津倍付 [N34°45'60" E139°22'25"], 4. X. 2012.

伊豆大島初記録. 林縁のシフティングにより採集された.

本種は、長崎県島原で得られた1雄をもとに記載され、国内からは本州、粟島、伊豆諸島、隠岐、四国、九州、対馬、種子島、屋久島、沖縄島から、国外からは朝鮮半島から分布が知られる(柴田ら, 2013). 伊豆諸島からは三宅島(渡辺・相馬, 1972), 御蔵島(澤田・渡辺, 1969), 八丈島(川畑, 2009)から記録されている.

なお、伊豆大島での調査は科研費(24510333; 研究代表者: 小島弘昭)の助成を受けて行われた.

引用文献

- 安立綱光, 1937. 伊豆大島のハネカクシ相. 日本の甲虫, 1(1): 52-60.
- Herman, L., 2010. Generic revision of the *Procirrina* (Coleoptera: Staphylinidae: Paederinae: Pinophilini). Bulletin of the American Museum of Natural History, (347): 1-78.
- Last, H. R. 1961. 5. Family Staphylinidae. In: M. Chûjô (ed.), Coleoptera from Southeast Asia. Nature and Life in Southeast Asia, vol. 1: 305-309. Kyoto, Fauna and Flora Research Society.
- 川畑喜照, 2009. 伊豆諸島八丈島の甲虫 III. 神奈川虫報, (165): 17-23.
- 岡本 巖, 1990. 広島県の島嶼部のハネカクシ類. 広島虫の会会報, (29): 13-22.
- Rougmont, G. M. de, 2001. The staphylinid beetles of Hong Kong. Annotated check list, historical review, bionomics and faunistics (44th contribution to the knowledge of Staphylinidae). Memoirs of the Hong Kong Natural History Society, 24: 1-146.
- 澤田玄正・渡辺泰明, 1969. 御蔵島の昆虫相. 東京農業大学農学集報, 14(1): 1-48.
- Sawada, K., 1971. Aleocharinae (Staphylinidae, Coleoptera) from the intertidal zone of Japan. Publications of the Seto Marine Biological Laboratory Kyoto University, 19(3/2): 81-110.
- Sharp, D. S., 1874. The Staphylinidae of Japan. The Transactions of the Entomological Society of London, 1874: 76-77.
- Sharp, D. S., 1889. The Staphylinidae of Japan. The Annals and Magazine of Natural History, (6), 3: 319-334.
- 柴田泰利・丸山宗利・保科英人・岸本年郎・直海俊一郎・野村周平・Volker Puthz・島田 孝・渡辺泰明・山本周平, 2013. 日本産ハネカクシ科総目録(昆虫綱: 甲虫目). 九州大学総合研究博物館研究報告, 11: 69-218.
- 渡辺泰明・相馬州彦, 1972. 三宅島の昆虫相. 東京農業大学農学集報, 17(1): 1-58.

(亀澤 洋 350-0825 川越市月吉町 32-17)
(野村周平 国立科学博物館動物学研究所)